

画面レイアウト定義書	システム名	難病・小慢DB	作成者		作成日	2021/11/22
	サブシステム名	指定医区画	更新者		更新日	2022/1/31
	サブシステム名		承認者		承認日	

画面ID	A15S010	画面名	院内システム用臨個票・意見書データ一括チェック画面
------	---------	-----	---------------------------

画面レイアウト

1. 画面レイアウト

1) 初期表示

2) 一覧表示

概要

- 院内システム用臨個票・意見書データ一括チェック画面領域間の包含関係について示す。

備考

- 活性化制御
出力フォルダ、ファイルのテキストフィールド
⇒常に非活性。
- 入力チェックのタイミング
実行ボタン押下時。
- 繰り返し
特になし。
- タブ順
左上から右下。
- 凡例
① : 画面領域番号
□ : 新規に作成され表示される画面領域
① : イベントNo

2. 画面領域

#	画面領域番号	画面領域ID	画面領域名	備考
1	①	A15S010A001	ボタン配置エリア	ボタン(実行)を表示する領域。
2	②	A15S010A002	メッセージエリア	インフォメーションメッセージ、およびエラーメッセージを表示する領域。
3	③	A15S010A003	コンテンツエリア	チェックツールのバージョン、入力項目、およびチェック結果の一覧を表示する領域。 一覧のソート順はファイル名(昇順)とする。

3. 画面の操作

#	手順
1	出力フォルダ、およびファイル(複数選択可)を入力する。 実行ボタンを押下すると確認ダイアログが表示される。 いずれかのファイルにエラーがある場合、選択した出力フォルダにエラー情報が記載されたCSVファイルが出力される。
2	チェックに成功したファイルには暗号化が施され、zipファイルに格納される。 また、ツールのバージョン情報を記載したファイルがこのzipファイルに格納される。 このzipファイルは選択した出力フォルダに出力される。 全てのファイルに対するチェックが完了した後、ファイル名と結果が一覧に表示される。 また、出力フォルダがエクスプローラで表示される。